

平成30年度

社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 事業計画書

1 事業方針

地域包括ケア社会の実現に向けて、本会では、市の行政計画である厚木市地域福祉計画と補完・連携の関係にある地域福祉活動計画を一年前倒しで改定しました。

平成30年度は、第5次地域福祉活動計画のスタートの年度となることから、計画の実効性を高めるため計画に位置付けられている新規事業や住民ニーズの高い事業により積極的に取り組みます。また、地域福祉活動計画における地区別計画を推進するため地区地域福祉推進委員会とより緊密に連携し地域福祉の更なる向上に努めます。

2 重点事業

(1) 地域支え合い活動の推進

少子高齢化、人口減少社会においては、地域での支え合い活動がますます重要になり、こうした活動を支える仕組みが求められています。

このため、地域福祉活動の中核的な役割を果たしている15地区地域福祉推進委員会への支援を強化するとともに、本会の地域福祉コーディネーターが生活支援コーディネーターを兼ねていることから、地域福祉推進委員会や第2層生活支援体制整備協議体と連携しながら住民同士が互いに助け合い、支え合うことのできる仕組みづくり等を牽引し、より地域に根差した活動を展開していきます。

(2) 権利擁護の推進

高齢化の進展に伴い、認知症や障がい等により判断能力のない方への支援の必要性が高まっています。

このため、厚木市権利擁護支援センターとして、成年後見制度の相談の実施や情報提供等に努めるとともに、市民後見人受任調整会議を設置するなど成年後見の需要に積極的に対応していきます。また、金銭管理や書類預かり等の日常生活自立支援事業については、高齢者や障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう充実を図るとともに、地域包括支援センターなどの関係機関との連携を深めていきます。

(3) 多様なボランティア活動の推進

地域包括ケア社会を実現していくためには、地域福祉活動の担い手であるボランティアの確保が不可欠です。

このため、ボランティアセンターの機能強化を図るとともに、新たなボランティアの発掘や新たなニーズに対応できるボランティアの養成など、多様なボランティア活動の推進を支援します。また、本会の大きな使命でもある災害救援ボランティア支援センターについては、有事の際に、より迅速かつ円滑に運営できるよう取り組みます。

主な実施事業（拠点区分及びサービス区分）

I 社会福祉事業

1 法人事業【230,381千円】

(1) 法人運営事業【161,919千円】

適正かつ円滑な法人運営に努め、地域福祉の推進を図ります。

① 法人運営に係る関係会議の開催

事業計画・予算及び決算をはじめ法人運営に係る案件の審議等のため、理事会、評議員会等を適宜開催します。

② 役員及び評議員の研修

役員及び評議員を対象に、円滑な法人運営を遂行するため社会福祉の最新動向等を基本とした研修会を実施します。

③ 会員募集運動の実施

市民・団体や企業等に本会活動への理解と協力を求めるとともに、各自治会の協力を得ながら、会員の募集を行います。

また、市内法人(企業)等を対象に、訪問等により賛助会員への加入の働きかけを行います。

④ 事務局の管理・運営

事務用情報機器の更新を2ヶ年度で行います。

⑤ 職員研修の実施

県社協等の研修を通して、職員の資質及び職務遂行能力の向上を図ります。

⑥ 関係機関等との連絡調整

地域福祉を総合的に推進するため、県社協及び他市社協、市内福祉関係施設等との連携と情報の共有を図ります。

⑦ 「社協あつぎ」の発行

本会活動の情報提供や周知及び福祉の理解促進を図るため、「社協あつぎ」を年4回発行します。

⑧ 厚木市社会福祉大会の開催

社会福祉への功労に対し、表彰及び感謝の意を表するとともに、福祉意識の高揚を図るため、厚木市との共催により開催します。

⑨ 啓発宣伝・情報発信事業

ア ホームページや社協メールあつぎによる迅速な情報発信を行います。

Ⓜ イ 新たなソーシャル・ネットワーク・サービスを活用し、情報発信を行います。

⑩ ふれあい基金の管理・運用

ア 基金の増強及び安全かつ有利な方法での管理・運用に努めます。

Ⓜ イ 住民福祉活動支援のための財源の一部として活用します。

⑪ 善意銀行の運用

市民や企業等からの寄付を受け、寄付金等の有効活用に努めます。

(2) 住民福祉活動推進事業【39,415千円】

地区地域福祉推進委員会に対し各種事業の支援及び助成等を行うとともに、地区地域福祉推進委員会連絡会議を活用し、各地域の福祉課題の解決に向けた支援に努めます。

① 地区地域福祉推進委員会事業費の交付

地区地域福祉推進委員会の運営や活動を支援するため、賛助会費及び厚木市交付金を財源とした事業費を交付します。

② 地区地域福祉推進委員会活動への助成

広報活動や食事サービス、ミニデイサービス、子育てサロン、敬老事業、健康体操教室等事業別の活動に必要な助成を行います。

③ 見守り・支え合い活動助成事業

地区地域福祉推進委員会が行う見守り、支え合い活動に助成をします。

④ 地区地域福祉推進委員会連絡会議の開催

研修や情報交換を通して、各地区の福祉課題の把握や情報を共有し、地区ごとの地域福祉の推進を図ります。

⑤ 地域福祉コーディネーターによる地域相談

地域福祉コーディネーターによる地域における相談を実施します。

⑥ 新たな居場所づくりへの支援

新たな居場所の提供者発掘への支援や運営者を支援します。

(3) 福祉活動推進事業【5,245千円】

市民の福祉向上を図るため、人材育成としてガイドヘルパー等養成研修、福祉当事者団体等への支援、車いすの貸出し、介護教室の開催、保育園への支援等の実施と障がい者週間の啓発事業等に取り組みます。

① 障害者ガイドヘルパー等養成研修事業

障害者居宅介護事業に係る人材の育成として、県の指定を受け、ガイドヘルパー関係の研修を実施します。

② 福祉団体等助成事業

福祉当事者団体及び福祉推進団体の活動を支援するため、助成金を交付します。

③ 車いすの貸出事業

病気やケガ等により、一時的に車いすが必要になった場合や福祉体験の機材等として、車いすの貸出を行います。

④ 介護予防事業

健康寿命を長く保てるように、脳トレ体験や脳の活性化により認知症予

防・介護予防につなげる教室を開催します。

⑤ 保育園児支援事業

保育園児の健全な育成を支援するため、保育園に情操教育に関する教材等の整備助成金を交付します。

⑥ 障がい者週間啓発事業

障がい者週間(12月3日～12月9日)に合わせ、市内障がい者団体及びボランティア等の協力により啓発キャンペーンを実施し、障がい者福祉や虐待防止等の理解促進を図ります。

⑦ 福祉活動団体等の研修支援事業(マイクロバスの運行)

本会一般会員(団体)等の研修等支援のため、マイクロバスを運行します。

(4) 共同募金配分金事業【2, 250千円】

神奈川県共同募金会からの共同募金配分金を活用し、高齢者・障がい者等の各種支援事業を実施します。

① 障がい者スポーツ体験事業

障がい者スポーツを楽しむことで福祉への関心を高めるとともに、思いやりの心を育むことを目的に、障がい者スポーツ体験講座を開催します。

② 男の料理教室の開催

男性高齢者を対象に、調理実習を通して規則正しい食生活のあり方を学び、健康増進を図るための料理教室を開催します。

③ 地域活動支援センターへの助成

障がい者福祉の向上のため、地域活動支援センターへ助成金を交付します。

④ 厚木市母子福祉連絡協議会への助成

母子福祉の向上のため、厚木市母子福祉連絡協議会へ助成金を交付します。

⑤ 高齢者福祉施設一日体験事業

中学生を対象にボランティア活動へのきっかけづくりとして、市内高齢者福祉施設の協力により一日体験事業を実施します。

⑥ 年末たすけあい配分金事業

共同募金の年末たすけあい配分金を活用し、障害者就労継続支援B型事業所及び地域活動支援センターの年末事業に対し助成金を交付します。

(5) ボランティアセンター活動事業【8, 675千円】

ボランティアセンター機能の充実強化を図るとともに、ボランティア養成講座等の開催や情報提供、福祉教育の推進、ボランティア団体への活動支援等を実施します。

① ボランティアセンターの管理運営

ア ボランティア活動の拠点として、研修室・実習室の利用提供とともに、情報提供、相談、紹介、啓発等を実施します。また、休日・夜間については、

業務委託により利便性の向上を図ります。

⑨ イ ボランティア登録制度の見直しによりボランティア登録の拡大を図ります。

② ボランティア講座の開催

各種講座や講習会を開催し、ボランティアの養成や育成に努めます。

・ ボランティア入門講座

・ 傾聴講座

⑩ ・ 災害救援ボランティア支援センター運営スタッフ養成講座

③ 福祉教育推進事業

ア 市内小中学校を対象とした福祉教育の支援として、手話、点字、車いすなどの各種講師を派遣します。

⑩ イ 市民を対象としたボランティア講演会を開催します。

④ ボランティアグループ等への助成

本会登録グループに対し、ボランティア活動のより一層の充実を図るため、助成金を交付します。

⑤ ボランティア情報の提供

「社協あつぎ」、ホームページ及び社協メールあつぎ等を活用し、情報の発信に努めます。

⑩ ⑥ 災害救援ボランティア支援センター運営スタッフ登録事業

“いざ”という時に災害救援ボランティア支援センターを円滑に運営できるよう、センターの運営に必要とするスタッフを確保するため、運営スタッフ登録事業を実施します。

⑦ ボランティア団体の講座支援

障がい者の社会参加等を促進するボランティア団体が行う講座等を共催で開催します。

(6) 資金貸付事業【10, 122千円】

生活困窮世帯、高齢者・障がい者世帯等の支援として、生活困窮者自立相談や福祉総合相談等を通して、世帯の自立と安定を図るため生活福祉資金及び緊急援護資金等の貸付を行います。

① 生活福祉資金の貸付

低所得世帯、高齢者・障がい者世帯に対し、教育支援資金のほか用途別に資金の貸付を行います。

② 緊急援護資金の貸付

緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった世帯に対し、資金の貸付を行います。

③ 行旅人の援護(旅費の貸付)

行旅人に旅費(隣接市までの電車賃)の貸付を行います。

(7) 在宅援護等事業【2, 755千円】

制度外の在宅支援として、福祉有償運送による移送サービスやホームヘルパーを派遣するあつぎしあわせライフサービス等を実施します。

① 移送サービス事業

公共交通機関等の利用が困難な要介護者及び障がい者等に対し、福祉有償運送として移送サービスを実施します。

② あつぎしあわせライフサービス

市民参加による有料の家事・介護サービスを実施します。

③ 交通遺児の援護

交通遺児に対し入学祝金を支給します。

併せて、法人運営事業として指定寄付金を原資に福祉金を支給します。

④ 災害見舞金の支給

火災等の被災者に対し見舞金を支給します。

2 権利擁護支援センター【10, 654千円】

(1) 権利擁護支援事業【4, 571千円】

成年後見制度の総合的な推進を図るとともに、高齢者及び障がい者の虐待による権利侵害を解消する取組を推進します。

① 成年後見支援

ア 成年後見相談を実施するとともに、成年後見制度活用講座を開催します。

㊦ イ 市民後見人受任調整会議を設置します。

ウ 本会が成年後見人となる法人後見を実施します。

② 市民後見人の育成

市民後見人登録者の実務的な研修等を通して、人材の育成を行います。

③ 法人後見の推進

法人後見の相談等を通して、法人後見を推進します。

④ 高齢者・障がい者虐待防止の推進

高齢者・障がい者の虐待通報の窓口(24時間体制)を開設するとともに、「社協あつぎ」や虐待防止研修会を通して、虐待防止の啓発に努めます。

⑤ 福祉総合相談の実施

福祉制度・サービスの相談から生活相談まで、幅広い相談に応じ、市民の福祉向上を図ります。

(2) 日常生活自立支援事業【6, 083千円】

高齢や障がいにより、一人では日常の生活に不安のある方が地域で安心して生活が送れるよう、本人との契約に基づき、福祉サービスの利用手続き、預貯金の出し入れや福祉サービス等の支払などの金銭管理及び書類の預かりを行うことにより、日常生活の自立支援を図ります。

契約締結審査について、県社協の審査会を利用する（国基準）ことにより、迅速化します。

- ① 福祉サービス利用援助
福祉サービス利用のための手続き等の支援を行います。
- ② 日常的金銭管理サービス
利用者に代わって、生活費等の払い出しや支払いを行います。
- ③ 書類等預かりサービス
利用者が保管困難な年金証書や預金通帳等を預かり保管します。
- ④ 市民後見人候補者登録者の生活支援員への登用
市民後見人候補者登録者を生活支援員に登用し、事業の拡充を図ります。

3 居宅介護事業【13,111千円】

障害者総合支援法により指定を受けた居宅介護事業所として、障がい者の在宅生活を支援するため各種サービスを実施します。

- (1) 居宅介護事業【349千円】
在宅の要介護者に対し、身体介護や家事援助のサービスを提供します。
- (2) 同行援護事業【12,762千円】
視覚障がい者の外出移動を支援するサービスを提供します。

II 公益事業

喫茶・売店事業【9,902千円】

障がい者の就労の場の確保と公共施設等利用者の利便を図るため、厚木市保健福祉センターにおいて、喫茶「どんぐり」・売店「どんぐり」を経営します。

- (1) 喫茶事業【4,695千円】
- (2) 売店事業【5,207千円】

III 収益事業

自動販売機設置事業【1,387千円】

市内公共施設における自動販売機（61台）の設置により、各施設利用者の利便を図るとともに、その収益金を社会福祉事業及び公益事業のために活用します。